

さいたまの“彩チェア”

●埼玉県家具工業組合

我が国の家具製造業者の全国組織である日本家具工業連合会（日家工連）では、12月2日から4日まで東京ビッグサイトで開催されるIFFT/ interiorlifestyle living 2009の特別企画として「にっぽんらいふ展 2009」を開催するが、同展に埼玉県家具工業組合（埼家工）が初出展する。

「にっぽんらいふ展」は06年に第1回を開催、中国、ベトナムなどから輸入される低価格品の増大に対して“日本の木の家具・生活具”をアピールした内容で注目されたが、08年の2回目に続き3回目をIFFT/ interiorlifestyleの特別企画展として開催することになったもの。

同展には日家工連参加の9県52社が出展するが、埼玉は近年その活動が注目されている家具工房など5公房が共同でわずか2小間の出品ながら、家具の展示会には珍しく椅子を切り口に「さいたま“彩チェア”」をテーマに掲げている。

輸入低価格品の大量販売で急成長を続けているニトリ、イケアが一人勝ちを呈し、極端な不況に追い込まれている家具業界において、日本人の体型・寸法に合い座り心地のよい椅子に消費者の関心が高まっているが、埼家工ではこうしたニーズに対応した椅子に絞った出展を決め、同時に埼玉県のキャッチコピーである「彩のくに」から「彩」を使って“彩チェア”を埼玉の椅子のブランドとして採用した。

今回、埼家工から出展するのは、朝日新聞主催の「暮らしの中の木の椅子・展」で最優秀賞を受賞した高村クラフト工房、著名建築家・デザイナーのファストサンプルを制作するモデューラーとしても知られる星亀木工所、「家具と人」など本にも取り上げられたハオ&メイ、モッコクと照明器具のアルクロス・鳩ヶ谷工房。それぞれにユニークなデザイン、卓越した技術によるオリジナル製品である。

各工房の出展品は次の通り。

●高村クラフト工房／高村 徹

椅子＝バツタチェア、Aチェア

スツール＝Aスツール、Aスツールwido

●hao&mei(ハオ アンド メイ)／傍島 治美

椅子＝ラウンドチェア、バックチェア

●Mokkoku (モッコク)／田中 義明

椅子＝カイマチェア、ナナチェア、ミヤマチェア

スツール＝スツール 001、スツール 002

●星亀木工所（星亀椅子工房）／星野

椅子＝ARUシリーズ、月光チェア

●アルクロス(株)鳩ヶ谷工房／横田 唯夫

照明器具＝木もれびシリーズ

バック・雑貨＝Wood Art Workシリーズ

■ 問い合わせ先 ■

工房家具ギャラリー・匠の杜
工房家具ギャラリー実行委員会
代表 山口 尚忠

〒163-1006

東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー
リビングデザインセンターOZONE 6F

TEL: 03-5322-6472

FAX: 03-5322-6476